

水源禪師法話集 75

(2017 年 5 月 2 日 大阪合宿 4 日目)

2018 年 1 月 17 日

一乗禪の会



インドネシア僧院にて(キトウーのカソリック僧院にて神は、白色三角の中に描かれていました、エクアドル 南米、白色密教の奥義に、仏は白色三角。道元禅師も正法眼蔵にそれとなく白色三角を述べられています。)

目次

水源禪師法話.....	1
なかなか修行が進まない中で、良い因縁を作って行く.....	1
あらゆる惑わしから逃れた場合、この世の魔達は貴方達を捕まえることが出来ない	2
しっかりと目を開いて、騙されない様に(オオカミ夫婦と山ヤギのジャータカ物語).....	2
質疑応答.....	5
与えるばかりで何も受け取らないヒーナヤーナのお坊様.....	5
水源先生のお話は全て体験から.....	7
ただ祈るのではなく、人の為に修行するという事が非常に大切な事.....	8
本当の心の中で観せるお釈迦様の信仰とはちがう西洋の信仰.....	9
一生懸命正しい瞑想すれば時空が変わる、大難が中難に、中難が小難に.....	11
ペンタゴン、ロンドン、バチカンの三位一体のウェスタンパワーと戦争と金融.....	13
二つの太陽、そしてニビル.....	15
現代は人にやさしい商売をさせないシステム.....	17

水源禪師法話

なかなか修行が進まない中で、良い因縁を作って行く

皆さんも良く頑張られて、もう殆ど(合宿)中日に近い事になり、またお話を聞いていたら、皆さんなかなか順調に進まれている、非常に素晴らしいと思います。私の体験上、僧院で一年間暮らしたり、その旅の途中で色んなお坊さんの話とか、その後の体験とか色々聞きますけれど、やっぱり一番皆さんが悩んでいるのは「修行が中々進まない」と。色んな意味で。外から見たら、清廉潔白でもう素晴らしい人生送られている様に見えますし、私もそういう風に見ていました。「お坊さんだから何でも知っているし、素晴らしい人生を送っているのだろうなあ」と。

ところが、そういう方が色々悩みを打ち明けて貰いますと、非常に皆さん、修行上で悩んでなかなか上手く行かないと。「そういう事なのだ」と。「私もお坊さんになろうかな？なったらすぐ修行が上手く行くのかな？」と思いながら、私も若い時に「お坊さんになりたいなあ」と思いながら、でも家庭があるからね。「いや、これは出来ない」と。中には素晴らしい、同じく修行されている方がね、離婚までしてお坊さんになった方がおります。でも、結局上手く行かなかったみたいでした。その後、あまり話を聞かないし。中には結婚されて非常に仏教に帰依して素晴らしい方なのですけれどもね、何か若くしてコロっと他界されたり。それがどういう事でどうなのか分かりませんが。

今度、お坊さんの仲間に入らずうっと暮らしているうちに、少し話しましたが、やっぱりそう簡単になかなか、素晴らしい学校に入っても上手く修行出来るというわけでもないのですね。また、ある方は非常に頭が良くて裁判官になって、仏教に非常に帰依して、それで全てを捨てて役職も捨てて、修行を一生懸命されているのだけれども、やっぱりなかなか上手く行かずに、非常に苦しんでいました。

という風に私達が思っている様に、一生懸命やれば上手く行くというものでもないし。そういう事だから、全て丸暗記で何でも覚えるのだけれども、そういう素晴らしい頭脳の方で、その心も素晴らしいのに上手く行かないと。だから何処で、どういう風になるか？訳が分からないのが、何て言うのですかね、この宇宙の学校で。私みたいにもうチャランポランのでくの坊で、あっちにフラフラ、こっちにフラフラでも、何か間違っただけでそこに落ち込んで、落ちた所が何と素晴らしい所だった様な事もあるのですね。

それで実は「因縁」というのは何処でどうなるか分からないわけなのです。でも、やっぱり「良い因縁を作りなさい」という事が、ジャーカタ物語を読めば、良く良く書いています。こういう風に修行して仲良くしたら、一生懸命そこで良い因縁を作りながらと。

あらゆる感わしから逃れた場合、この世の魔達は貴方達を捕まえることが出来ない

ある時、お釈迦さまが竹林精舎で一緒に共同生活して、修行をずうっと見ていたら、「やっぱりちょっと危ない」と。若い修行僧ね、良く良く見ていたら、綺麗な若い女性に心移しているし、全然そういう事無頓着で、何と言うか憧れとかそういう風に全く警戒していないと。そういう事でアーナンダ長老を呼んで「ちょっと皆にお話ししたい事がある」と。「僧院の僧を皆集めなさい」と。高い所に座って、若い僧にこう言ったわけです。

「自分の好きなまま、勝手に思う様に、心を非常に綺麗なそういうものを見て憧れたり心移したら、死ぬ時に非常に暗い所に行く」と。「暗い所に生まれて魔に変身してしまうぞ」と。「だから、良く心を気をつけて、心を奪われない様に」と。「特にそういう素晴らしい綺麗な人が『好きだ、惚れた』と言っても、その時にはそういう事には乗らないでちょっと離れて見なさい」と。「また、そういう風に自分の目が綺麗な映画俳優とか女優に心を奪われて、そっちの方に行くのだったら、その目を熱い鉄の棒で焼きなさい」と。「そのくらい心を引き締めて下さい」と。「何故なら、もしそういう事に誘われて、うつつを抜かしたら、結局は大変悪い所に落ちる」と。「そういう風に自分の欲望に負けない様に」とそういうお話をされたわけです。

特に好きだ惚れたと言っても、そういう事から離れて、「そういう綺麗な人と付き合う時は、『相手が大嫌いだ』と言う人と付き合いなさい」と。という事は問題が発生しないと。問題が発生したら、非常に面白くない事が発生すると。ところが今の世は、ハリウッドムービーでもご存知の様に、「美しい人は全てOK」という風な映画が作られて、私達は殆ど頭がおかしくなっているわけです。その当時は、昔で言う花魁さん、日本で言うと吉原とか、世界的にはそういう所がいっぱいあるわけなのです。イタリアのローマ大帝国のポンペイにしろ、それが経済活動の一環になっているわけですね。

でも「お坊さんはそういう所に行かないで、離れなさい」と。そういう事なわけなのです。「普通に生活して、淡々と修行して行きなさい」と。「もし、そういう風に心を奪われるお坊さんが、例え修行が非常に上手く行っても、例え八正道をちゃんと守っても、またさっき言った様にあなた方に紹介した四つの瞑想をしっかりやられても、また例え第九禪定に入られても、そういう風に目を奪われた場合には、良くないのですよ」と。「ただ、そういう風な修行をしてそういう風な感わしから逸れた場合には、魔王があなた方を見る事が出来ない」と「あなた方が透明人間みたいに、この世の魔達はあなた方を捕まえる事は出来ないでしょう」と。「だからしっかりと、そういう美德に感わされない様に、そういう物質界の絢爛豪華な所にうつつを抜かす事のない様に、しっかりと心を引き締めて下さい」と。つまり、ファイブセンスですね。眼耳鼻舌身と。「そういう事をしっかりとガードして下さい」と。それで、こういうお話があるわけです。

しっかりと目を開いて、騙されない様に（オオカミ夫婦と山ヤギのジャータカ物語）

お釈迦さまがある森の木の神様でね、ジューッと見ていたら、そこに沢山の素晴らしい山ヤギがいっぱいいるわけです。草食べて。そしたらそこに夫婦のオオカミがいたわけですね。

ジャッカル。そのオオカミの名前は「プティマナッサ」。奥さんのオオカミは「ベニ」と。そういう夫婦が岩穴の中で暮らしていたわけです。「嫁さんよ、この山にはいっぱい山ヤギがいる」と。「何とか二人で食べたいなあ」と。「そうだ、そうだ。何とか食べよう」と。それで、夫のオオカミさんはあの手この手で、山ヤギを1匹取って食べて、2匹取って食べて、ドンドン食べて行ったら、山ヤギが無くなったわけです。まあそういう風に、山ヤギさんは騙されて行った訳です。さっき言った惑わされる様に。

そして最後にもう殆ど山ヤギがいなくなって、一匹、女の山ヤギさんが残っていました。「何とかあれを捕まえて食べたい」と。「でも、とっても賢くてなかなか難しい」と。それで嫁さんのオオカミに「お前何とか友達になって、仲良くして、引き連れてこい」と。「私は死んだ振りをして、近くに來たらパクっと食べるから」と。「はいはい」と言って、嫁さんのオオカミさんがね、「こんにちは」とか優しくて一生懸命遊んで、仲良くなったわけ。

そしてある日突然ね、この嫁さんのオオカミがおいおいと泣くわけ。「いやあ、私の旦那が死んで、墓に埋めなければいけないし、一緒に私と来て、お祈りして埋めてくれないか？」と。そしたら、この女の山ヤギさんが「はい、はい」と言って、トコトコと友達だからね、付いて行ったわけです。そしたら、旦那のオオカミさんがね「あ、来た来た来た」と。それで目をぱっちり開けて首を出して死んだ振りしているわけ。ところが、山ヤギさんは「あれ？死んでるのに、目を開けて首を出している！」と。それでパッと逃げて行ったと。そしたら、旦那のオオカミさんがね、嫁さんに「お前、何と馬鹿な事をして、近くまで連れて来て。お前が後ろに立ってちゃんと(逃げられない様に)したら、私がパッキリ食べる事が出来たのに」と。「あんな美味しいヤギさんがトコトコ歩いて来たのに、何と残念な事だ！」と。

それで嫁さんが「いやあ、そうですか、旦那様。では、もう一回山ヤギさんの所へ行ってお友達になって引き連れて来るから、何とかあなた許して頂戴」とそう言ったのです。そしてまたトコトコと行って、嫁さんのオオカミさんが山ヤギさんに「こんにちは、実は私の旦那さんが突然生き返ったのです」と。「そこにはお祝いとしてお盆に食糧いっぱい積んであります。だから一緒に食べに来てくれませんか？」とそう言ったのです。それで「いやあ、でもこれは私をもう一回騙そうとしたのではないか？」と、女山ヤギさんはそう思いながら、とっても警戒しながらトコトコと歩いて行っただけでも自分を守るために、「いや、私はその代わりに4匹の恐ろしい地獄から出てきた犬を連れて行く」と。それで白いグレイハウンド(狩猟犬種)という犬と、黒いグレイハウンドとか、目が4つあるグレイハウンドとか、それからもう一匹「4匹連れて行く」と。その一匹一匹には500の犬がちゃんと家来としてついて来ると。「全部で2000の犬が一緒に来て、もしそこに食料がなければ、腹が減ってあなたを食べてしまうでしょう」と。

それを聞いた嫁のオオカミさんは「いやあ、これは大変だ。ちょっと待って。ちょっとゆっくりして来て下さい。ちょっと用意するから」と、急いで駆けて旦那さんの所に走って行って「2000の地獄の犬がやって来る！」と。「もしここに食料がなければ、食べられるから」と。それで、オオカミ夫婦がパーツと逃げて行ったと。

そういう風にね、「しっかりと目を開いて、騙されない様にして下さい」とお釈迦さまはお話しています。という風に、今はもうあの手この手で、メディアから何から、皆さんが身も心もうつつを抜かす様に、「何か訳の分からない事が良い事だ」なんて言う世の中だから。まあ、そう

いう事で、こういうお話をされたみたいです。「恐ろしい事になりますよ」と。だからちゃんとそういう風に騙されない様にとというお話で。その時、竹林精舎の修行僧達にそういうお話をされたという事で。今日も、ちょっとお昼にこれに関したお話しをしましたけれど。

だから、皆さんがこうして素晴らしい修行をされているから、心を引き締めて淡々と騙されない様にして下さい、という事なのです。でなければ、せっかく素晴らしい修行をして高い位置に行っても、それを全部失う事になりますよ、という事なのです。



五台山、中国。

質疑応答

与えるばかりで何も受け取らないヒーナヤーナのお坊様

【参加者】

地獄の犬を引き連れて行くと言ったヤギさんは、その後どなたかに転生されたりとか？

【水源師】

ヤギさんは、その山で、スクスクと自分の子供を育て暮らしたのだと思います。

【参加者】

その後の転生は？

【水源師】

ああ、その時、神木だったと。この名前の付いてるオオカミさん達、その後、またお話しが出て来るみたいだけれど、ここには無いです。また、そのうち調べてお話しします。

【参加者】

49日で涅槃を見せてあげると言ったヒーナヤーナ (Hīnayāna: 小乗仏教: 劣った乗り物という大乘からの差別的呼称)。その話は、例えばパオだったら、最低もっと長期間掛かるというので、どういう事でその差があるのでしょうか？

【水源師】

それは、分からない。もちろん、そこの寺院はただいるだけで、食料もただ、ただジーツと修行すると。その修行法の内容は分からない。ただちゃんとしたクティを与えられてね、そこで修行する所があって。その方は白い衣を着ていました。比丘ではなく。だからその生徒も全て白い衣を着て。それでこの聖者はお茶一杯でも受け取らない。逆にお茶をあげるくらいで。「受ける事によって貸しが出来る」と。「借りが出来るから、出来るだけお布施は受けない」と。ただ助ける事ばかりしている。ありとあらゆる薬草とか種類があって、病気を治す方法。また、どうしたらお金を儲けられるかもちゃんと教えてあげて。

それで、宝石商の方が何時もそこに相談に行くわけなのです。「はい、あなたはこうなさい」と。そしたら上手く行くわけ。それで、お金が沢山儲かるから、その方にお布施しようとするけれど、絶対に受け取らない。それで困り果てて、仲間と相談して「では、先生の本を書きたいのですが、それを出しても良いですか？」と。「本を書いて出すのだったら良いでしょう」と。自分では受け取らないけれど、お話とか人の為にそれは OK と言う事で。本当にあばら小屋で、板を集めて打ち付けた所の奥で、板の上のベッドでね。人と話す時は、鶏小屋の様な網の中で、お話しして来るわけです。人とも会わない様に。だからヒーナヤーナも超キビ

シイわけなのですね。というヒーナヤーナのお坊さんだけれど、ただただ人助けをしていました。

【参加者】

一般の人はそこには行けない？

【水源師】

行ってお話出来ます。もちろん修行したいという事だったら、はいどうぞと。もう、今はいません。今は普通のテーラワーダのお寺になって。その聖者が死んだ後、そこがお寺に代わって。その聖者を讃える為に、寺院をやっていました。今はそこでは正式にサティパッターナ (satipaṭṭhāna:念処経、四念処経)を教えるお坊さんは一人もいなくて、やはり経典ど通りに、ただずっと座っているだけで、正式なパオのダンマヌパッサナー (法随観)とかマハーシのカーヤヌパッサナー (身随観)とかね、そういう風な事を教える人が今スリランカでもなかなかいないみたいで。本当に修行したいという人は、ナ・ウヤナ森林僧院(Na Uyana Aranya)と言う2000年来の素晴らしい修行道場があってね。私もそこに行きましたけれども、本当に気風は良いのだけれども。

そこでは、初段階の初歩の第一禅定かそこらに入ったら、すぐにパオに送ってしまうわけです。と言うのは、先生がそれ以上の教科を教えられないわけです。パオである程度修業した人が一人いるみたいだけれども、そこでは正式に教えるだけの力が無いから、ニミッタを1時間、2時間出したら、すぐにパオに送って。それで私も十数人のスリランカのお坊さんが何時も一緒に歩きながら、パオで修業していましたけれど。だから昔はスリランカでそういう風に色んな素晴らしい瞑想法を教えていたと思うのですけれど、やっぱり私を大事にしてくれるパンニャ・ラマ・バンテも儀式の方をよくします。お祈りとか、それから葬式に行ったりとか、何処何処に行ってお布施を受けるとか、食事をとるのですね。それによって人々が福を貰うという事です。

一般の人でも非常に有名なキャンディと言う町の仏歯齒のお寺があって、そこにお布施をすれば非常な幸運に当たるという事でね。ダーナ、布施第一で。それで五千人のお坊さんに最高の食べ物を捧げるのです。一年に365日しか無いから、そこにお布施出来るという事は、もう最高の宝くじに当たった様に思う。という風に、私達は宝くじを引くと。こっちは宝をいっぱい与えると。食料。もう凄いお金だと思いますよ。最高の食べ物を五千人のお坊さんに捧げると。でも、それがまた福として返って来るという事が分かっているから、それでそういう事が出来るという事が、もう宝くじ当たったみたいに大喜びなのだそうだと、そう言っていました。

水源先生のお話は全て体験から

【参加者】

お茶を一杯も受け取らないというのは、一杯のお茶以上の貸しが出来る場合もあるという事ですか？

【水源師】

そうですね。お茶は奢るけれど、受け取る事は拒絶すると。それで言っていました。「菩薩行と言うのは厳しいから、そう簡単に思うなと。早く涅槃に行きなさい」と。ところが大乘では皆、「菩薩、菩薩、菩薩行だ」とそう言っているけれど、パオセヤドーもね、「菩薩という事は非常に厳しい」と。「早く、涅槃に行きなさい」と。そういう風に言っておられました。「そう簡単な事ではない」と。だからスリランカの聖者は、その辺りの方はね、皆「彼は菩薩様ではないか？」と。年も分からないのですよ。100歳か200歳か。14の言葉も話すし、色んな秘伝全て分かって、人を助ける事ばかりしているから。もちろん、今は天界で生まれているのだろうけれどもね。

だからそういう事で、そういう風に南伝の行者はね、いるわけなのです。今の日本ではちょっと見当たらないと思います。韓国でも、大乘の方はなかなか出ないけれど、あっちではちゃんと隠れて居って。もう一人はラターナと言うサファイアがいっぱい出る町があるのです。その郊外にお寺があって、そのお寺は沢山の子供を教える学校でもあるわけですね。その学校に山からお坊さんが下りて来て、教えて帰って行くわけです。

そのお坊さんは何故か私に「一緒に、私の洞窟に遊びに来ないか？」と。私はまだ旅をしている最中ね、バックパッカーで。それで「何という幸運なのだろう」と。「こういう聖者みたいな高僧、恰好も良いし、清廉潔白な様相をしているし」と。それで、トコトコと付いて行ったわけです。そしたら、高い山の洞穴に住んでいるわけです。洞穴の中には28の仏を飾って帰依しながら。それで「よしよし、君はね、ここに座って、一晩中瞑想しますか？」と。「そうします」と喜んでずうっと瞑想したわけです。ちょうど白い衣を頭に被って、私はヨギですから。「ヨギ」と言うのは、「在家の修行者」という事で、全て白装束で座って。まあ、蚊のいる事！（笑）。ブンブンブンと。ずうっと座りながら、帰依しながら瞑想して。そしたら、そのお坊さんが朝になったら「コンコンコンと扉を叩いて」と「お腹空いた？」と言って、ちゃんとお粥作ったり何か食べさせてくれて。まあ、もの凄く親切にしてくれる。それで朝方だったら、そういう陰しい山のとっぺんに綺麗な若い女性の方がね、弁当持って「はい、お坊様、ちゃんと食料持って来ました」と言って、置いてトントントンって帰って行くわけです。

だから、綺麗な女性が悪いというわけではないのだけれども、そういう風に付き合いなさいというわけです。非常に綺麗な衣装を着てね、本当に綺麗な方でした。まあ尊敬の意味で着ているわけですよ。山奥の小高いところへ食糧を持って来られていました。だから、普通の男性だったら大喜びで「やあ！綺麗な天女のような女性が食糧持って来た！」と。「そういう風にしたら駄目ですよ」という事なのです。ところがもう今は映画で、すぐ惚れた腫れたとかある

でしょう？ロマンティックで。いや、そういう事は絶対に無かったです。面白い話でしょう？これ、全て体験からお話しています。

ただ祈るのではなく、人の為に修行するという事が非常に大切な事

【参加者】

今は異常気象で、4月になっても北海道で大雪だったり、夜中に結構明るかったり、関東でも4月中にかなり寒かったりして、そういう異常気象と言うかそういう状態で。去年も先生がお話して下さったと思うのですが、第二の太陽、ネメシスの連れて来る惑星「ニビル」が大接近するという、日本ではあまり情報が出ていないかもしれないのですけれども。そういう事だったり、戦争が今、北朝鮮、アメリカ、ロシア、中国と、色々な情勢がひっ迫していて、現在の世界というか日本も含めて、皆さんが大難が中難、中難が小難と言いますか…。万が一の備えというか対処と言うのでもなく…。先生はどういう感じに思われていますか？

【水源師】

何回も言う様に、誠実に淡々と生きて、今教えた4つの瞑想法の中の一つでも良いから、ただ淡々と瞑想して。そこでこの地球が爆発しても全く問題無いです。すぐ輪廻転生して良い所に行きますと。ところが、4つの手法も殆ど人は受け取る事が出来ない社会情勢だから、せめて皆さんはそういう人の為にも瞑想してあげて下さいと。自分自身だけが栄光を受けるのではなく。あなた方が、そういう風に一所懸命、我も彼も皆の為に瞑想するという事で、そういう素晴らしいバイブレーションがこの大地に蔓延して、大難が中難に、中難が小難になる可能性は大いにあります。

何故かと言ったら、パオで瞑想していた時に、私が最初在家で瞑想していた時に、最初から1時間半座るのだけれども。ずうっと座っていると、日本から来た人がびっくりして「いやあ、普通はお坊さんでも、時間が来たらパッと立ち上がって逃げ出すのに、あなたはずうっと座っている」と。皆ビックリして、私の側にも来るのだけれども、あるイギリスから来た医学部の大学教授がね、私にこう言ったわけです。「あなたが瞑想していますけれども、そこには足の無い幽霊達がたくさん来てますよ」と。「ああ、そうなのか」と。「では、私はそういう人達の為にも瞑想しなければいけない」と。

特にそういう幽霊達は食べる事が出来ないと。餓鬼というのは、「餓鬼畜生」と言って、「餓鬼」と言うのは、お腹が空いたという事を指すでしょう。本当に幽霊達は食べる事が出来ないのです。一年に一回、死体をたらふく食べる状況があれば良いという風な、そういう話が1年か2年前に親鸞聖人ですか？、地方に追いやられる時に、お祈りして、餓鬼界から出してあげたという。そういう話もありますけれど。そういう風に食べる事が出来ないのだと。あなたがしっかりと瞑想すれば、それが彼らの食べ物になるから、来てるのですよと。

実際に私が深い瞑想に入ったら、実はあまり食べられないのです。何故かと言ったら、チッタ(心)があるでしょう。チッタが食糧を出してしまうわけです。それで、ボディダルマさんが、高い山の洞窟で修業しているのですよ。私も少林寺に行きましたけれど。少林寺はずうっと

下の方であって、そこからテクテクと1時間か2時間くらいかけて上がって行くわけです。だから毎日毎日、食料とか水を持って行くわけがないのに。不思議に思ったのはパオで修行した時に「なるほど。ずうっと瞑想したら、殆ど食べなくても良いし、身体から本当の食べ物、物質を出しているのだな」と。それで、ネパールのブッダボーイが6年間も食べずにずっと住んでいたと。強烈なジャーナに入っているわけですね。ジャーナに入ったら食べなくても良いわけです。

そういう風に「ああ、そうなのか」と。それで一心、涙が出て来て、ずうっと瞑想して。それから瞑想がスーッと上手く行ったわけです。ますます上手く行った。皆さん、ますますびっくりしてしまっ。

やっぱり、人の為に瞑想するという事が非常に大切だと。そして、人の為に、大地の神々の為に瞑想して、大地が喜ぶし国も救われると。だから皆さんがこうしてね、忙しいところを来てしているのは、実はこの日本の国の社会の為にもしているのですよ。出来れば、隣国とか地球の為に、ドンドン広げて行くのが本当のメッターヌッサティ(Mettānussati: 愛の瞑想)になります。それは修行する事で、ただ祈る事ではないという事、修行という事が非常に大切だと2日前にお話ししたでしょう。実際にそうなのです。

本当の心の中で観せるお釈迦様の信仰とはちがう西洋の信仰

このニビルの話も、ネメシス(Nemesis)と言うのです。名前もちゃんと付いてるわけです。4つの巨大な惑星が、真っ赤な鉄の粉に囲まれた第二の太陽と私達の太陽がお互いにクルクル周っているわけです。これがゼカリヤ・シッチン(Zecharia Sitchin)という人が太古のスメリア文献を読んで、3600年毎にそれがやって来て、大破壊していると。ずうっと過去の文献を読んで行けば、大体それくらいに、今から3600年前くらいにね、突然エジプト文明が滅んでしまうわけ。その後、ずっと廃れてしまっ。また、その時期にメキシコのピラミッドの文明の人達が突然消え去ったりするわけ。全部いなくなっ。

ちょうど3回前の12800年前~12900年前辺りをみたら、その時にアイスエイジ(氷河期)から突然今の気候になったわけです。その時に、地球の回転がクルッと変わって、南極が今のポジションに来て、その前は熱帯みたいな森林があったり動物もいっぱいいると。その化石も発見されて木もあると。この1万2,3千年辺りではそういう風に地球は何時も一定ではないわけです。

これが、カルロス・フェラーダ(Carlos Muñoz Ferrada)というチリの天文学者が、1939年にボピュラメカニクスという雑誌に、『彗星太陽がやって来る』という論文を書いたわけです。もし、それがやって来れば、この地球が大変な大災害を受けるという事を発表したわけです。実際1983年だったかな、ワシントンポストで、その事が紹介されたわけです。大手メディアで。でも、ローマンカソリックのバチカンが1640年代にもはやその事を知っているわけなのです。

おかしい事に、ガリレオ・ガリレイがね、「地球は太陽の周りを周っている」と、その40年前に発表した時に火あぶりにしようとしたわけです。それで今は天体望遠鏡を使って、ある日

天空の一角を見ていたら、やっぱりネメニス太陽がやって来てるわけです。という事は昔からね、アレキサンドリアの図書館は焼ける前にそういうものを全部持ちだして、良いところは、焼いて人には見せないようにと。

だから太古のギリシャの神々が、何故あれだけ人に尊敬されて崇められたのかといったらね、銅鉄で出来た戦車があるわけですね。アポロ宮殿で空中に浮くわけなのですよ、スーッと。日が昇ればスーッと浮き上がって、日が落ちたらまた降りると。皆まともに見てるものだから「これぞ、神の力である」という風な、そういう手法を持っているみたいです。未だにそれを再現出来ないけれども、色んなトリックが今ね、再現しているみたいで。

そういう風なものを作るのはアレキサンドリアなわけですが、エジプト。そこはそういう機械を作ってあらゆる世界の寺院に売り出すわけです。つい最近、2000 年前にね、確かイタリア沖かギリシャ沖で、精巧な歯車の破片(アンティキティラ島の機械)を見つけて再現したわけですね。それは精巧なコンピューターなわけなのです。いついつ何時に月食が始まるとか、天体の動きを正確に読み取れるのです。それでクルクル回せば、「あなたは、いついつ何処で災難が起こる」とかアストロロジーというのですか、予言して。「おお凄い、神のお告げだ」とか。と。いってお賽銭がいっぱい入って来るわけです。

という風に、そういう風な知識のある図書館を焼いたから、それから 400 年前あたり辺かそこらにはもう一般の人は忘れてるけれど、ローマンカソリックはちゃんと大事な本を取っていて知っていながら逆にガリレオ・ガリレイを殺そうとした、今世紀には隠しもせずに天体望遠鏡を使って夜空を見ているわけです。その方向と非常に小さい一角の空間。「やって来る！」と。それは、絶対の秘密だったわけです。

何故かと言ったら、第七の封印で、最後にこの世はギリシャの聖者が、パトモス島です。七つの封印(ヨハネの黙示録)を書かれた予言者が聖者です。キリストの 12 人の使徒のアポストルス(apostles:十二使徒)で。セントジョーンズ(St.Johanne:ヨハネ)その人が書かれて、「この世は最後の第七の封印を取った時には、天から星が全部落ちて来る」と。「で、この世は終わる」という事が書かれて、それが実際にやって来ると。3,600 年毎に。それを知っているわけです。テクニックはアポロ神殿で、青銅の 4 つの重い馬とチャリオット(chariot:戦車)が空中に上がって行くと、荘厳な仕掛けがあつてね、今でも分からないのだから。まるで UFO みたいに空中に上がったらびっくりするでしょう？

そういう風にして信仰させたわけなのです。お釈迦さまの信仰のさせ方とは全く違うわけです。本当の心の中で観せるのではなく、現実荘厳な仕掛けを見せて「ウワー凄い」と。カルロス・フェラーダが 1940 年にそれを発表したわけですね。スイス生まれの天才も 1700 年代の天才的な数学者、今のロシア科学アカデミーを作った方なのですね。グレートセントキャサリン(エカチェリーナ 2 世)に招聘されて、その人がもはや予言しているわけです。彼(カルロス)はたぶんその学説でもって調べてみたら、やはり「来ている」と。

私がエクアドルのキトに行った時、そこに素晴らしい寺院があるわけなのです。フランシスコ・ピサロが日本に来たけれど、その時には 1540 年～1580 年、40 年間そこに住んでいるのです。もう教会の中に天体望遠鏡があるのです。教会ですよ。私は写真撮ってしまいました。教会というのは神に祈って瞑想して、そっちに心を進化させる所ですが、実はもうその時代

から、一生懸命科学的な事ばかり研究しているわけです。ですからコペルニクスも天体望遠鏡で地動説を発表して、その他のお坊さんも僧院で遺伝子の組み合わせとか、科学的な研究を一生懸命しているわけです。

ところが東洋の方は一生懸命、瞑想、瞑想。そういう素晴らしい瞑想に出会って、私が結局、少しは解説出来るわけなのですよ。皆さんに「これが正法の瞑想ですよ」と。もう奇跡的です。だって人間は見たものを信じます。空中に青銅の馬が飛んで行くとか。それで、そういう天体望遠鏡とかそういうのを見たら、もう火あぶり。「お前何するのか！」と。でも教会自身はジーンとそうして見ているわけです。

一生懸命正しい瞑想すれば時空が変わる、大難が中難に、中難が小難に

世界最大の双眼テレスコープ(大双眼望遠鏡)というのが、あるわけです。それはアリゾナにあります。二つの目でこう見えるやつ。それはね「ルシファー」という名前。「ルシファーとは悪魔の別名」。その持ち主はローマンカソリック。何処を見ているかと言ったら、ネメシスが来る方向を見ているそうです。で、ドナルド・トランプさんがね、忠告されたわけです。「この情報は絶対に出さない様に」と。「もし、出したらどういう事になるか、良く考えなさい」と。そしたら彼は商売人でしょう？脅しとか絶対嫌いでしょう。それで、オープンにして、その時から公然と「ネメシス」とか「ニビル」とか出して、今はNASAでも発表しています。

でも、何故日本では徹底的に出さないのか？と言う事は、地質学的に地球がちょっとチルト(tilt:傾く)すると。もうしています。それで、それが近づけば世界の火山が爆発して、地震もあっちこっちで起こります。そういう事は1930年代の『メトロポリス』という映画を見たら、その状況がそこなのです。そしてデモクラシーが崩壊して。今、まさにそうです。それもメトロポリスの無声映画を見たら、ちゃんと分かります。その事なのです。それで1930年代にビッグブラザーが非常にでっかいスクリーンでね。1930年代ですよ。サイエンスフィクションの映画だけれども、空中にでっかい映像が来て広告したりと、もう現在と変わらないわけです。

実は私も質問されなければ、答えないけれども、世界で一番情報を持っているのはアメリカ海軍なのです。次に情報を持っているのは空軍なわけです。アメリカ海軍と、アメリカ空軍は別々の団体なわけです。それぞれにボスがいて。だから、アメリカの大統領がね、沖縄の軍司令官に「〇〇しなさい」と。「そうか。お前は遠くにいるし、私はここだ。私の好きにする」と。それでおしまい(笑)。それで、海軍は何故そう強いのかと言ったら、空母にしても自分の国なわけです。その王様なわけなのです。人から命令を受ける事も無いし、まあお金を貰うから、そういう事になっているけれども、そういう風にならない様に全ての用意があるみたいで。だから、幾ら大統領が言ったって、聞く耳を持たないわけです。自分の帝国を守りたいから。

それで、その海軍の、海軍はもちろんCIA。CIAも海軍派CIA、陸軍派CIA、空軍派CIAとか、皆それぞれ派閥があるわけです。中でも。ちょうど国会の自民党派とかいっぱいあってね、そこで最高の知識を持っているわけです。そういう天体が来れば、火山がね、一年で35発、火山が爆発するけれども、今は一日で35発、火山が爆発しているわけです。だから桜島も2回ボンボン、ボンとやったでしょう。地震もあっちこっちで、マグニチュード7級がドンド

ン起こっているわけです。一年分が一日でドンドン起こって行っている。柔らかい地殻だから、ちょっと動けばボコボコとなってしまうのだけれども。

その時に、それが来て去ったら、日本が地図に載っていないのです。アメリカの半分も消え去るわけ。それで、オーストラリアも半分消え去り、ヨーロッパの方も殆ど半分消え去ります。それが、今年の9月23日～11月21日辺りと私の計算ですね。来年辺りには立ち去って、その時に沢山の隕石が落ちるだろうという、地質学的、宇宙力学でそうなっているけれども。確実に100という事はある得ないわけ。時間は分からないわけです。この宇宙的には千年が一秒になるかどうか、だから分からないです。

だから、皆さんがこうしてしっかり瞑想すれば、時空が変わる事があるわけです。予言された事が予言通りにならないという事が通常だから、ノストラダムスも時間は言わないわけです。ただ、東京オリンピックの時にそれを今度、人工的にやるか？人工的に。狂ってる。でも、皆さんがね、一所懸命瞑想をすれば時空が変わるのですよ。時空が。大難が中難に、中難が小難になるかもしれないし。皆さんが正道されれば、宇宙的に立派な修行僧を殺す事は出来ないのです。あなたが一生懸命修行してここに居れば、宇宙の法則でこれが出来ない様になっているから、これが逸れるという事になる。

宇宙の千年は私達の百万年にあたるかどうかというくらいな時間帯だから、あなた方が一生懸命この数十日やればね、宇宙としては百万年ずれるのは何ともないのだから。一秒くらいの差で。だから、将来百万年後に来て、あなた方は日本も存在するかどうか知らないから、まあまあ、そういう物理的な関係なのかも分からないからね、一生懸命瞑想して下さいという事です。

どうしても五千年後にはね、地球の文明が滅びます。地球の文明が滅んで、今みたいなコンピューターも無いし、車も無いし、石器時代に戻ります。人は存在しますよ。ちょうど私達の五千年前に何も無いという、そういう状況が発生する。何故そういう事になるのかという私の大観では、私達は五千年前には何もなかったと。だから、五千年後には実際にそうになってしまう。全て心だから。

それで、皆そう思うでしょう。そう思う様に今なっているから、そうなるわけです。そういう風に教えられているから。でも、心で「そうではないのだよ」と。そうなった場合には、1万年、2万年、10万年の文明がつづくけれども。そこで、問題は「自我」なのですね。「我」ですね。我。国の我。自分の我。アッタ(atta:自我)。この宇宙はアナッター(anattā:無我)なわけ。アッタでは必ず、消滅して、それでアスバ(asubha:不浄)になります。アスバというのはドロドロして、文明もそうになってしまう。ちょっと難しい答えになったかもしれないかな。

ただ単純にね、人を裏切らずに、軽んずる事なく、慈悲の瞑想のメッタスutta(Metta Sutta: 慈経)の通りに行かなくても、とても崇高だから。私達は皆凡人だからね。そこまで行かなくても、「人を裏切らない」と。「誠実に生きて行く」と。誠実に生きて行けば、もちろん人を軽んずる事もないし。また裏切る事も無いし。まあ、「誠実」。印幻先生が言った様に「真面目に生きる事」と。それで、こうして修行して行けば、この日本国が、また今の通りに続くと思います。だから私が言ったでしょう。「あなた達は全員知らないでしょう？何をしているか」と。こういう風な壮大な事が今、発生しているわけです。何か分かった様な分からない様な。良いです

か？

ペンタゴン、ロンドン、バチカンの三位一体のウェスタンパワーと戦争と金融

【参加者】

ドナルド・トランプさんという人は、前の大統領と違う、絶対に当選しないとメディアは言っている。だけど選ばれて、今色んな事をしているけれども。これまでのアメリカの権力の人達とは違う形で選ばれたという事なのですか？

【水源師】

まあ、そうなのです。言っている事も全く違う方向で、「戦争はしない」とか、大統領になったらすぐに「FRB、連邦準備制度を潰す」と。悪の根源ですね。そう言っているけれども、今、静かーになってね」

【参加者】

シリアにミサイル撃ったりしていますね。

【水源師】

そうそう。静かーになってね、今のネオコンという事を一生懸命やっているのか？やらないのか？。この前も、100人のセネター(上院議員)を集めた時に、最初5分間だけで、後は国務長官とペンタゴンの防衛相に任せて、彼は挨拶してスッと消えたい。つまり、張子のトラになったみたいな感じで。それで、何をやっているのかと言ったら、一生懸命「グレートアメリカ」と書かれたキャップ(帽子)とかね、そういうものを一生懸命売っているとか(笑)。そういう商売の方を熱心にやっている。まあ、そういう情報を読みました。

今までの歴代の大統領はサーティスリーデグリーマスター(33の階層)のメイソン(一員)なわけです。アメリカはイルミナティ帝国で。だからペンシルベニア1776番地は、1776年にこのイルミナティの現在の組織が、今のロスチャイルドのファミリーによってその時代のヨーロッパの最高の知識人を集めて作られたわけです。だから、ペンタゴンとロンドンとバチカンは3つ一体になって何時でも、連呼して動いて。これをウェスタンパワーと言って。この目的は全世界を一つに治めると。そして治めたら、自由自在に金を動かせると。

金融は鉄砲よりも偉大であると。戦争をどっちも仕掛けさせて、やっぱり玉がなければ戦争が出来ないから。幾らでも金を、どんな高い利子でもドンドン借りて行くと。勝てば、その国を取って返せるからという風に、どの国でも一緒に敵味方どっちも応援するわけです。政治と一緒に。だから、当たりハズレが無いわけです。必ず一方で儲かると。それで戦争をさせればさせるほど儲かるわけ。どっちにも貸し付けて。それは全部架空経済だから。実体経済ではないから、破裂するわけです。

破裂させないためには全世界を制覇して、自分の架空金融、架空債権でやるわけです。電子マネーで幾らでも、ポンポンポンと打ったら何百、何千、何兆幾らでも広げる事が出来るわけです。もう紙幣経済でもそれは出来ない。紙幣でも印刷する時間が無いからね。だから明治時代に日本経済が凄く発達した時に、裏は白紙でね、前だけ印刷するというのを読みました。本当ですよ。それは今は非常に高価な骨董品になっているはずですけど。実際のアメリカのお金は電子マネーの3%しか無い。実際の流通量は。裏付けは。97%は電子マネーで。クレジットカード。だから、全世界を一つに治めてしまえば、幾らでもお金を作り出し出来るわけです。だから、FRBが連邦政府ナンバーと言ってね、全ての銀行の流通はここを通して全世界に流通して行くから。

ところが、今、ロシアと中国がね、独自の金融パイプを作り始めたわけです。そしたら、FRBそれをバイパスして商売が出来るわけです。だから今、直接中国とロシアは独自金融を作り始めて、そのベースは何かと言ったら金、金なのです。だから金をベースにしてやっているから、アメリカドルが無くてもやって行けるわけです。

それに今度、ペルシャが参加するという事で。やっぱりペルシャ、ロシア、中国、それからインドが参加してしまったら、インドは金本位制なのです。何故か昔からインドの人は金しか信用しないわけです。何故かと言ったらね、1ドルが30ルピーなのです。それが、例えば、価格変動で1ドルが40ルピー、50ルピーになる時があるわけです。インフレーションですね。そしたら1ドルでよその国から野菜買って来た時、30ルピーの時はそれで良いのだけれど、50ルピーの時はもう70%も値上がるでしょう？そしたら、一般の庶民はたまったものではない。それで皆ゴールドを身に付けるわけです。ゴールドも1グラムで売れるわけです。インドでは。それが掛になるから、30ルピーで買ったゴールドが今度50ルピーになるわけです。等価格で。だから、損はしないわけ。最大のゴールドを買うのはインドなのです。そういうふう

にインドの人々は生活を守っています。

今度ドイツもね、スーパーマーケットに行けば、1グラム何ユーロで売っているわけです。それがお金で、札の中に1グラムが入っているのです。それが金券になっているわけです。それをやられれば、アメリカは97%電子マネーでお札も無いのです。その裏付けが「8700トン(金)がノースフォックスという所にある」と言われているけれど、CIAの海軍の情報では「私達(米国)は金を持っていない」と言っている。

カナダは世界最高の金鉱を持っているけれど、金の鉱山。何故か全部売り払って、ゼロ！本当にゼロ！それでカナダドルがブーンと下がってしまっ

まあ、話がずうっと飛んで行ったけれども、実態はそうで。そういう風に世界経済とニビルと言う話。トランプ氏が33階級メイソンではないわけです。でも、彼はイルミナティのキングに選ばれたわけです。そうではないですか？（米国は）イルミナティ帝国だから。大統領というのはキングなわけです。だから、キングであっても下の方が全部取り囲んでいるから、ただ座って。オバマさんみたいなものになっているのではないですか。

100年間そうになっているものだから、幾ら一人で騒いでも、働いている百万人の人間がそういう仕組みで生きていたら、一夜にして変える事は出来ないでしょう？ そうでなければ、フランス革命みたいになるしかないし。では後はどうするか。戦争をするか自爆するかという2つに1つの今の状況で。その時に丁度、ニビルがやって来る。合わせているわけです。そのどさくさ紛れにお金をチャラにしようと。どっちに転んでもチャラにしようとしているわけです。

二つの太陽、そしてニビル

ところが皆さんがこうして一生懸命瞑想すれば、その玉が外れる確率が多いと思う。宇宙の軌道のシステムで、そういう風に的確に来るわけがないわけです。ここから隕石がね、月の側を通って行っただと。そしたら宇宙科学的には、紙一重の差で飛んで行っただという割合になるわけです。だから、地球の大気の側を通って行っただと言ったら、もはや当たる寸前と言うか、もう99,9%当たる確率なわけでしょう。皆さんがこうして一生懸命やれば、そういう風なネメシスの軌道もちよっと、他のまた天体があるわけです。

私達は二つの太陽という事をつい最近言い始めたけれど、第三の太陽も今動いているらしい。そういう事、ちょっと前に話したでしょう？ お釈迦さまが「7つの太陽が集まった時にはこの地球がガス化して消滅する」と。だからお釈迦さまの教えと言うのは想像を絶しますよ。「あれ嘘でしょう、2つの太陽？」。今来ている。3つの太陽が23000年の軌道で動いているというのだから。「まあそういう23000年と私達のたかだか100年の寿命と関係があるかい？」と。

でもね、この100年のとっても短い、数十年でも一生懸命瞑想をしたら、この地球が変わるかもしれない。特に今日本はね、こうしてあなた方が一生懸命、瞑想すれば、私から観たら、来ないと思う。でも、あなた方がしなければ。脅かすわけではないよ。私はいないのだから。私はいないのだから、不思議なものでね、実は来る時に、来ないわけ。来るべき時に来ないわけ。不思議なもので外されるわけです、4月に来てしまう。私は知らなくて。私の意思でやっているわけではないよ。本当に。

だから、この日本の運命はあなた達の双肩に掛かっていると言っても過言ではない。これを公表したら、私はマルキチだけれど、実際そうなのです。アメリカ海軍の情報ではそうになっている。どれだけの高さまで水が来るかまで分かっている。ひとつ隕石が落ちればね、富士山の高さまで水が上がるからね。ブワッと。樽の中で揺れるみたいに。だから、ちょっと逸れれば、全部逸れるから。こうしてあなた達をプッシュするわけではないけれど、淡々と淡々と今の状態を続ければ。お釈迦様の代理になっているわけですから。この四つの瞑想法。

もう、結果出ているでしょう。何か違うとか。感じが違うとか。それだけ強烈なものです。ところが、教学仏教の幾ら素晴らしい先生の教本読んでも、チンプンカンプンだから、効果が無いわけです。何を言っているか分かったつもりで全然分かっていないから、効果が無いわけです。その先生が書いたのが明快に「 $1+1=2$ 」とか、綺麗に皆さんが分かったら、それは効果があります。私、分からないですよ。何を言っているのか。では、分かる人間が、本当に綺麗に説明が出来る日本の大先生がいるのだったら、別ですよ。でも未だに「楞伽経って何？」って誰も分かっていない。

【参加者】

ニビルは三千何百？

【水源師】

三千六百年。

【参加者】

今まで、定期的に来ていたのですか？

【水源師】

はいはい。

【参加者】

そうすると、どうして今回は？時空を超えているのだったら、同じ軌道を…。

【水源師】

来てます。同じ軌道。

【参加者】

同じ軌道ですよ。という事は、今回も確率的には同じ軌道で来る可能性が…。

【水源師】

同じ軌道。軌道はめったに変わらない。だから、その証拠にもはや同じ軌道で来て、このソーラー系(太陽系)がね、円盤みたいになっているわけです。銀河もね、こう周るでしょう。ここ(中心に近いところ)はゆっくりでも、この端になれば光り以上の速さで。アインシュタインの理論が崩れるわけです。ところが崩れないためには、雲みたいにずっと去らなければ、光りのスピードよりも落ちなければいけない。それが、全体にクルクルクルクル周っているわけです。実際に。少しずつズレても。だから、こういう円盤のブラックマター(物質)があるのではないかと。一緒に皿にみたいに。という理論なわけなのです。この太陽系もね、こういう風に円盤みたいに動いているはずだと。だから、今実際に、こういう船があるでしょう？浮かんで

いるでしょう？それがこっちが重いから、6度狂っているわけです。全体が6度ピュッと狂っている。

だから、同じ軌道で実際に来ているわけです。それが1980年にNASAがニュージーランドにニビルの観測天文台を作ったのです。南の方からやって来るから。南極方ではしっかり見えるから。それで1983年にその天文学者に「そうだ」と言ったら抹殺されました。それでその後この情報は言わない様にと。どの天文学者も知っていても、言ったら職を失うとか、いじめに遭ったり、時には殺される。

フランスの天文学者がそれを1990年代に発表、言い始めたら、すぐ来て口止めされて。今はトランプさんが出たおかげで、それが911も発表されて、ニビルもアメリカでは公然と言う様になって。だから、皆の心をそこに抑えて静かにさせれば、そのまま行くわけです。でもそれが騒ぎだせばね、車もそう動かないわけです。心がワーツと騒げば、そのパニック起こしてね、この地球船がそういう風な所に行かないから。静かにさせれば、静かにそこに行ってしまうから。分からない内に。

そういう事で、心というものは凄いもので、お釈迦さまの話で。皆が「嫌だ！」と思ったら、そういう事が発生しないわけです。みんなが「良い」と言えばそっちの方へ行くわけです。だから、第二次世界大戦も朝から晩までドンドコドンドコ「お国のために死にましよう」と、朝から晩まで歌って。皆「そうだそうだ」と、西洋でも。だからみんな戦争をしている。

ところが、皆が「嫌だ、嫌だ、嫌だ」と言ったら、なかなかそうはいかないわけです。今の日本だって若者は死にたくないから「嫌だ、嫌だ」と言っているから、ブレーキがかかって行かないのだけれど。昔の戦前だったら、もう皆「はい、朝礼。学徒総動員」となっているよ。そうでなくても、安倍さんが「一億総活躍」と言って、女性に同じ様な歌文句でして。でも、今はもう皆賢いから「ああ、そうかい」「ああ、そうなの」と言って(笑)。それだけで。小池さんが一生懸命頑張っているけれど。

現代は人にやさしい商売をさせないシステム

【参加者】

大阪に来て、電車に乗って、結構驚いたのですけれども。関東にいますと、電車の度に急病人で止まったり、毎日の様に人身事故でしょっちゅう止まってるのですね。大阪に来ると殺伐としていないし、既に首都圏はもうダメになっているのではないかなと、こっちに来て感じているのですけれど…。

【水源師】

そうですね。私がいた時は、電車が止まるなんて事は絶対にあり得なかった。地下鉄も止まるなんて事もなく。スイスイスイと。私もあっち(カナダ)の交通公社に勤めてたものだから、そういう風に公共機関ね。昔はね、電車止める事なんて滅多に無い。今はやっぱり、ここと一緒に。しょっちゅう止めてしまう。一体何をしているのか？と思うくらい。故障が起こるわけがな

いのに、故障が起こる。しょっちゅうバスは止まる。それからもう満員電車で人はギュウギュウ。「いやあ故障で、こんなに時間が掛かるものか」と。

私は会社の恩恵で、左団扇で今でも暮らしているけれど、今の若者は私の時の給料の半分で、もう死ぬ程働かされて。その恩恵で私はこうして皆さんに法話に来れているけれど。もう世界的に一緒ですよ。一緒という事は世界的なシステムで動いているという事だと思えますよ。ヨーロッパは分からない。一般の方はアメリカもやっぱりカナダと一緒に、もう惨憺たるものです。

このシステムは人に優しい商売をさせないシステムになっているみたい。昔はそこら辺の坊っちゃんでも、すぐ店開けて、商売出来て、野菜でも何でも。今はもう、全てモノポリー(独占)アイデアで、ギュウギュウ詰め。そしたら、皆さんがそこら辺でたこ焼き屋やって悠然と暮らせるとか、銭湯やって全然問題無いという事を、全部消滅させて。もうモノポリー経済で、良い事一つも無いです。最初はね「安い安い」で良いのだけれども、今度、そういう底力の商店がドンドン死んで行けば、逆に割高になって良いものが一つも手に入らない。

だから、ホームセンターとかそういう所行っても、それはある程度の良い物はあるけれども。昔はその辺の商店街に行けば、刃物屋さんがあってね、素晴らしい包丁とか、ありとあらゆる素晴らしいものが安く手に入ったけれど。今はもう、難しいと思う。ある所は奇跡的で。

この近くに、昔のね、私が通った銭湯があって、「ホーこれは夢物語！」みたいに、たっぷりお湯に浸かって、昔と一緒に水は綺麗で。いや本当に身体がほぐれます。昔は良い物を提供してたよ。今は綺麗で温泉みたいだけれど、何か塩素がきつくて身体が疲れるのか、疲れが取れたのか？それでも一生懸命サウナに入って暑い冷たいでドブンとつかって気分良くして帰って来るけれど。ここに(大阪の銭湯)どっぷり浸かったら、たった30分くらいで疲れがスッと取れてね。

だから、私は昔を覚えているから、こういう風な素晴らしさが分かるけれども、今の人はちょっと分からないと思う。何が何だか。高いお金を払わされて、サービスはその1/3くらいしか貰えないと言う。それがモノポリーの現状で、お互いに首を絞めあう様な商売させて。でも、仕方無い。そういう大きいシステムの中でやられているから。それから独立してやろうとしたら、バッシング食うから「はいはい」と。それで、何とか頑張ってるね、商売人の人が何とか頑張ってるこの日本を支えて。それにこの天体の事でしょう？それは、政府としても言いたくないと思います。天界が変わっても黙っているしか、「大丈夫、大丈夫」と言うしかないと思います。



マヒンダ アラハト様が20年岩の寝床で暮らした洞窟、スリランカ。

水源禅師法話集 75

(2017年5月2日 大阪合宿4日目)

2018年1月17日 発行

編集兼発行 一乗禅の会